

## 令和7年度 第3回 緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和7年12月18日(木) 16:00～17:03

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者10名：野里栄治（北部地区医師会病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、桑江周子（県立中部病院）、砂川華（琉大病院）、友利寛文（那覇市立病院）、安座間由美子（県立中部病院）、吉嶺厚生（県立八重山病院）、田場純子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）、名嘉眞久美（キャンサー・グリーンフおきな和）、増田昌人（琉大病院）

欠席者4名：中村清哉（琉大病院）、中島信久（琉大病院）、新里雅人（県立宮古病院）、川田聡（南部医療センター・こども医療センター）

陪席者1名：有山葉子（琉大病院）

### 報告事項

1. 令和7年度第1回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

各自で確認することとなった。

2. 令和7年度 緩和ケア・在宅医療部会（部会・研修WG・在宅WG）委員名簿一覧について

各自で確認することとなった。

3. 令和7年度 第3回緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング 議事要旨

4. 令和7年度 第3回緩和ケア在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨

3.と4.について、各自で確認することとなった。

5. 令和7年度 緩和ケア研修会開催日程一覧について

那覇市立病院《第1回 8月30日(土)》

沖縄県立中部病院・沖縄県立八重山病院共催《第3回 9月13日(土)》

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター《第4回 10月4日(土)》

沖縄赤十字病院《第5回 11月16日(日)》

北部地区医師会病院《第6回 11月22日(土)》

中頭病院《第7回 11月30日(日)》

野里部会長より、「各施設で実施の緩和ケア研修会について、どの会場も滞りなく終わったことが記載されているので、各自確認願います」とあった。

6.～10. 学会等の報告について、野里部会長より、「協議事項の後、時間があれば触れたいと思います」とあった。結果、触れることができなかったため、各自で確認することとなった。

### 協議事項

1. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）ロジックモデルにおける所掌分野の進捗について

2. 「痛みのスクリーニング及びモニタリング」に関するアンケート調査（たたき台）について

6. 今年度の活動計画について（ロジックモデル）

増田委員より、実施する目的について説明があった。

#### 【実施する目的】

スクリーニングとモニタリングについて、建前上は外来患者様全員について行うこととなっているが、どこもできていなかったようなので、今どれぐらいできているのか、どれぐらいできそうか、を皆で確認し、まずはその評価をして我々の活動目標としていくことである。副産物として、スクリーニングをかけた後痛みがある患者について主治医チームに伝え、それを受けて薬の増減を行うことで患者にも還元となるのではないかと。

- ・6 拠点病院で1ヶ月、期間を決めてやってみる。
- ・実際にできたかどうかも含めて、2月か3月ぐらいにやることを考えている。
- ・算定の要件に入っているのも本来はやっていないといけないことである。
- ・3月は集計する方の異動がありうまくいかない可能性があるのも、できれば2月に実施がありがたい。(安座間委員)
- ・統一したスクリーニングシートで一斉に実施したい。
- ・琉大病院で実際に使用しているスクリーニングシートを使用して、2月に実施する。
- ・内容が変わらなければ、やり方は各病院に合わせる。
- ・外来/入院問わず実施する。外来は「化学療法室を利用している外来患者」のみとする。
- ・がん/非がん問わず実施する。
- ・タイミングは、外来は問診時、入院はバイタルチェック時に実施する。
- ・あまりできていなかったところでも、2月にキャンペーンをはるということであればみんな頑張ると思う。(吉嶺委員)
- ・一回頑張るとその後、ゼロにはならないと思う、一回目を八割ほど頑張ると次の月は多分一気にゼロにはならないので、それを何回かやっていくとペースがあがっていくと思う。百を一気にということは難しいので、多分一・二年かけて徐々に実施率があがっていけばいいかなと思っている。(増田委員)
- ・最終的に6拠点病院が100%できることが意味のあることである。実践して最終的に100%近くになり、みんなで達成できればいいと思っている。(増田委員)
- ・次の部会(3月開催予定)で結果を出すことは難しいとは思いますが、各病院で進めていく方がいいかと思う。
- ・入院している患者でオペ待ちの患者も、毎日全員対象でしているのか。(安座間委員→砂川委員)
- ・統一でバイタル測定の一環の一つで毎日全員行っている。デメリットとして、毎日取っても何も変わらないという患者もいて、聞かれることの負担はあると思う。ただ、紙面で問診票を使い始めて良かったところは、患者自身が自己記入で答えるので、看護師がただ状況を聞くより、本人の困りごとを抽出できていることが良い点と感じている。また、紙面であることで、患者とのコミュニケーションツールとなっていることが聞き取ってそれで終わりになっておらずいいことだと思っている。(砂川委員→安座間委員)
- ・一人でも患者の悩み事を聞き取れたというのが、スタッフ自身のやりがいにも繋がっていくと思う。(砂川委員)
- ・今回は、一段階目でスクリーニングを実施する。今後、二段階目で結果を主治医チームに報告、三段階目はその結果を受けた主治医ないし主治医チームはきちんと対応する。そし

て四段階目は緩和ケアチームにコンサルテーションをする、ということで良いと思う。(増田委員)

- ・部会でこういう取組みをすることが決まって各病院お願いします、という文書作成は可能か。説得材料として、あれば有難い。(安座間委員)
- ・文章は事務局の方で用意する。各病院長宛ての文書にして、野里部会長とがんセンター長の連名で送りたいと思う。(増田委員)
- ・毎日取る事は無理です、みたいな話が出てくると思うのですが、そこは柔軟にこちらでできる形でやっていいのか。(吉嶺委員)
- ・大原則としては仰る通りでいいかと思う。お一人で説得は非常に大変だと思うので、私、お願いしに伺います。各病院事情があると思うので、私の方で院長及び看護部長または副院長にご挨拶をしに行きたいと思います。(増田委員)
- ・集計方法については、スキャンの取り込み数にする。
- ・部会長名/がんセンター長名で、琉大病院看護部宛てにスクリーニングシートの拝借依頼のレターを作成する。(事務局対応)

### 3. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

- (1) 琉球大学病院
- (2) 中部病院
- (3) 那覇市立病院

### 4. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会版)における在宅分野の医療者調査アンケートについて

### 5. 緩和ケアマップ新規掲載依頼先について

3.~5.については、各自資料を確認することとなった。

### 7. 次回令和7年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

令和8年3月頃、調整さんにて日程決定と報告があった。

### 6. その他

特になし

以上